

第2期恵庭市総合戦略

ガーデンシティプラン

～日本のガーデンシティ（田園都市）がここにある～

当初令和2年3月

恵庭市

恵庭市制施行50周年記念

未来へつなぐ 花のまち 恵庭



目 次

1. 恵庭市総合戦略の目的	1
1.1 恵庭市総合戦略の目的	1
1.2 恵庭市総合計画との関係	1
2. 恵庭市総合戦略の対象期間	2
3. 恵庭市総合戦略	2
3.1 基本目標（目指すべき将来の方向性）	2
(1) 人がつながり人口減少に負けない魅力あるまちづくり	2
(2) 安全安心に住み続けたくなるまちづくり	2
(3) 恵庭らしさを活かした魅力あるまちづくり	2
(4) 希望を持って子育てしたくなるまちづくり	2
3.2 数値目標	3
3.3 施策の横断的展開	3
(1) 若者世代を中心としたニーズに対応する横断的施策（P17 参考資料参照）	3
(2) 交流人口増による幅広い地域産業活性化（P18 参考資料参照）	3
(3) 妊娠・出産・就労・結婚・定住への切れ目のない支援（P19 参考資料参照）	3
(4) 新ガーデンデザインプロジェクトの推進（P20 参考資料参照）	4
(5) 新しい時代の流れを力に（P21 参考資料参照）	4
3.4 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）	5
(1) 人がつながり人口減少に負けない魅力あるまちづくり	5
(2) 安全安心に住み続けたくなるまちづくり	7
(3) 恵庭らしさを活かした魅力あるまちづくり	9
(4) 希望を持って子育てしたくなるまちづくり	13
4. 戰略の推進管理	15
4.1 P D C A サイクルの推進	15
5. 参考	16
5.1 総合戦略の構成の概要	16
5.2 事業の展開の方向性	17
(1) 若者世代を中心としたニーズに対応する横断的施策	17
(2) 交流人口増による幅広い地域産業活性化	18
(3) 妊娠・出産・就労・結婚・定住への切れ目のない支援事業一覧	19
(4) 新ガーデンデザインプロジェクトの推進	20
(5) 新しい時代の流れを力に	21
5.3 令和元年度恵庭創生懇談会	24

1. 恵庭市総合戦略の目的

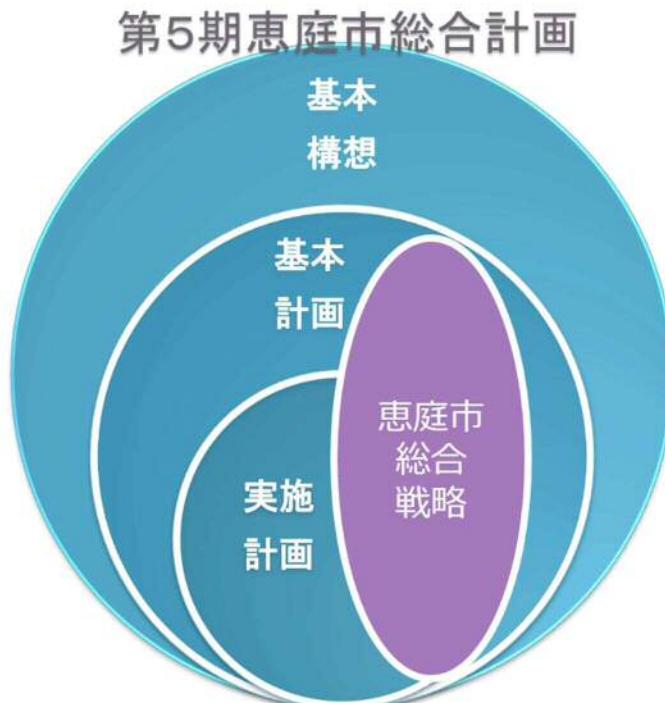
1.1 恵庭市総合戦略の目的

令和元年9月に実施した市民アンケートにおいて回答者の92%が恵庭市は住みやすいと評価しています。豊かな自然と交通などの利便性を併せ持ち、市民の郷土愛も高いことが裏付けられました。まちの健全な将来を考えると、この優れた地域性を生かしつつ、今後も地域の課題に向き合い、少子高齢化を克服し、地域の強みを生かし、地域の生き残りを図っていかなければなりません。そのためにも、住みやすいまち、住み続けたくなるまちとしてライフスタイルの提供を続けていく必要があります。

総合戦略は、恵庭市が次世代に向けて更なる発展を遂げ、この地で暮らすことに幸せを感じられるまちをつくり、人口減少や少子高齢化が急速に進む社会情勢においても高い持続性を確保するため、短・中期的に取り組むべき施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

1.2 恵庭市総合計画との関係

恵庭市総合戦略は、第5期恵庭市総合計画において人口減少の問題に特化した重点的・横断的な取り組みを進めるべき施策の基本計画・実施計画として位置付け、国の交付金などを活用し取り組んでいくこととします。



2. 恵庭市総合戦略の対象期間

令和2年度から令和6年度までの5年間とします。

3. 恵庭市総合戦略

3.1 基本目標（目指すべき将来の方向性）

当市は、水と緑豊かな石狩平野の平坦な地形の中、「空の玄関・新千歳空港」と「道都・札幌市」の中間に位置し、国道36号線やJR4駅を有するなど、優れた立地環境を背景に田園都市として発展を続けてきました。こうした地理的優位性を活かすとともに、恵庭市総合戦略の策定に当たり、「恵庭市人口ビジョン」において、人口動向や将来人口の分析を行い、目指すべき将来の方向性を以下のとおりまとめました。

「ひと」に関わる現状分析として、転入者による社会増によって若者の流出や出生率の低さをカバーしているということが推測されます。このため、今後も住みよいまちという強みを伸ばすため、宅地供給により転入者増、対して若者定着や低出生率という弱みを克服する施策展開を行う必要があります。

「しごと」に関わる分析として、生産年齢人口の減少による域内経済の縮小を阻むため、高齢者や女性、外国人材等の活躍できる場やその方策を創造することが必要です。

「まち」に関わる分析では、恵庭の自然、景観など「花・水・緑」をコンセプトに、全国都市緑化フェアの誘致を起爆剤として、交流人口増加を目指し、雇用に繋がるような経済波及効果を高める必要があります。

こうした「ひと」「しごと」「まち」に関わる観点や第5期恵庭市総合計画策定にあたって寄せられた市民の意見に基づくまちづくりの視点から4つの基本目標を定めました。

(1) 人がつながり人口減少に負けない魅力あるまちづくり

人口減少は避けられないものであり、それに応じたコンパクトシティの推進や民間の力を活用する必要があります。

(2) 安全安心に住み続けたくなるまちづくり

転入を呼び込む定住のためには、若者から高齢者まで安心して暮らせるまちづくりが必要であり、良質な職・住が求められます。

(3) 恵庭らしさを活かした魅力あるまちづくり

恵庭の恵まれた地理的条件を活かし、観光など交流人口を増加させることにより人口減少による経済縮小を鈍化させる必要があります。

(4) 希望を持って子育てしたくなるまちづくり

妊娠・出産・子育て・教育の切れ目のない支援により安心して子育てできることはもとより、子育て世代を呼び込むためには、学力向上などの教育・子育て環境を充実させが必要です。

3.2 数値目標

数値目標	基準値	目標値（R6）
純移動数 (「転入者数-転出者数」：転入超過数)	純移動数 562 人 (H30)	純移動数 822 人 (R2～R6 累計)
観光入込客数	観光入込客数 1, 356, 869 人 (H30)	観光入込客数 1, 572, 000 人 (R6)
女性就業率	女性就業率 42. 9% (H27 国勢調査)	女性就業率 (H27 国勢調査対比 [↗]) ※ ¹ (R2 国勢調査)
若年者就業率	若年者就業率 53. 2% (H27 国勢調査)	若年者就業率 (H27 国勢調査対比 [↗]) ※ ¹ (R2 国勢調査)
合計特殊出生率	合計特殊出生率 1. 33 (H30)	合計特殊出生率 1. 60 (R6)

※¹R2 国勢調査集計結果公表後、目標値について検討

3.3 施策の横断的展開

(1) 若者世代を中心としたニーズに対応する横断的施策 (P17 参考資料参照)

今後も遊休地等を活用した宅地供給による転入者増を図るとともに、高齢者の住み替えによる既存住宅の活用や流動化事業を進め、さらには若年層のニーズにある賃貸住宅供給も促進するなど、宅地や既存住宅の循環、連携を推進することにより、出生率の増や人口の社会増を目指すこととします。

(2) 交流人口増による幅広い地域産業活性化 (P18 参考資料参照)

道央圏 264 万人の日帰り観光をメインターゲットとし、本市の特色や地域性である「花のまちのイメージ」や農産物、自然景観など良好な地域資源を活用することで、交流人口を伸ばし、さらには経済波及効果を拡大させ、幅広い地域産業の活性化を図り、雇用の増などへ結び付けていくことを目指します。

(3) 妊娠・出産・就労・結婚・定住への切れ目のない支援 (P19 参考資料参照)

年代別に施策の対象者は異なり、必要とする支援も異なることから、妊娠・出産・

子育て・就労・結婚・定住への切れ目のない支援を体系づけることにより、効果的な施策展開を図っていきます。

(4) 新ガーデンデザインプロジェクトの推進 (P20 参考資料参照)

JR 駅を中心としたコンパクトで質の高い住環境、市街地に近接する工業団地を中心とする利便性の高い職場環境、ガーデンツーリズム等の観光機能の更なる強化に取り組むとともに、防災、景観、環境、健康機能を付加し、居心地の良い生活空間づくりを進め、QOL¹が高いまち=「住みやすいまち、暮らしやすいまち」の戦略的なPRを推進します。

(5) 新しい時代の流れを力に (P21 参考資料参照)

Society5.0²の推進による未来技術は、有効に活用することで課題を解決するだけでなく、市民生活の利便性を高め、恵庭の魅力を向上させるものと期待されます。また、SDGs³の理念に沿って進めることにより、政策の全体最適化及び課題解決の加速化が期待でき、持続可能なまちづくりを推進します。さらに恵庭の資源を活用し関係人口⁴の創出に努めます。

¹ QOL : Quality Of Life の略称。ひとりひとりの人生の内容の質や、社会的にみた生活の質のことを指し、どれだけ人生に幸福を見出しているかの尺度としてとらえる概念のこと。

² Society5.0: サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）のことと、狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）に続き、IoTやロボット、AI等の最新テクノロジーを活用した新しい社会。

³ SDGs : 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。

⁴ 関係人口：移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと。恵庭市では、行き来する・通過する人々やさっぽろ連携中枢都市圏圏域人口、工業団地関係者、ふるさと納税寄付者等が、恵庭に関心を持ち、応援し、関わりを持つこと等を想定。

3.4 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI⁵)

※施策の横の記号について、◎は新規事業、○は拡大事業、◇は継続事業

(1) 人がつながり人口減少に負けない魅力あるまちづくり

具体的な施策・事業	重要業績評価指標 (KPI)
①多世代交流の推進 子どもから高齢者まで多機能施設による交流、「居場所」の創設を推進し、コミュニティの維持、増進に努めます ○新ガーデンデザインプロジェクト ⁶ の推進 ◇多世代交流推進事業 (公共施設の利活用、歩くまちづくり)	複合施設利用者数 (基準値 H30-593, 956 人、 目標値 R6-636, 076 人)
②広域化による機能維持・増進 教育、文化、医療、産業等幅広い分野において他市と連携し、先進事例の導入などにより、機能の拡充やまちの魅力づくりを図ります ◎さっぽろ連携中枢都市圏事業 ◎千歳市との連携強化 ◇地域救急医療体制連携事業 ◇都市間交流による産業連携	都市間連携による商品開発数 (基準値 R1-2 個、目標値 R6-10 個 (5 年間累計))
③駅周辺の賑わいづくり 3駅を中心としたコンパクトシティを目指し、少子高齢化社会に対応した機能の集約、確保、充実を図ります ○エリアマネジメント ⁷ の推進(地域デザイン) ○駅周辺再整備事業 ○商店街活性化事業 ○土地利用促進による都市機能集約 ◇公共交通ネットワーク形成事業 ◇駐車場対策	エコバス利用者数 (基準値 H30-299, 270 人、 目標値 R6-300, 000 人) 最寄りの駅周辺に賑わいがあると思う人の割合 (基準値 H30-28%、 目標値 R6-30%)

⁵ 重要業績評価指標 (KPI) : Key Performance Indicator の略称。施策ごとの進捗状況を検証するため設定する指標。

⁶ 新ガーデンデザインプロジェクト : 職・住・観光機能の拡充を図るための、コンパクトシティ、駅周辺の賑わいづくり、花のビレッジ、恵庭かわまちづくり事業、新住宅団地検討、工業団地の用途拡大の政策間連携の総称。

⁷ エリアマネジメント : 地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取り組み。

◇駅まちプラザ賑わい創出事業 ◇（再掲）新ガーデンデザインプロジェクトの推進	
④公共施設マネジメント 公共施設の機能を維持し、統廃合・複合化により時代に合った適正な管理コスト、多世代交流機能、遊休地の民間利用を図ります ○公共施設等再編(インフラ含む) ○公有地有効活用(住宅地等供給促進) ◇（再掲）新ガーデンデザインプロジェクトの推進	公共施設床面積 (基準値 H30-254, 169 m ² 、 目標値 R6-252, 661 m ²)
⑤PPP⁸・PFI⁹の推進 公共サービス、機能維持のため、官民協働を推し進め、民間活力、ノウハウ等を活用し、稼ぐ公民連携を進めます ◎企業版ふるさと納税の推進 ◎民間企業やNPO法人等との連携・協働 ○PPP・PFI推進事業 ○AIやIoTの活用 ◇（再掲）新ガーデンデザインプロジェクトの推進	PPP・PFI件数 (基準値 H30-18件、 目標値 R6-23件)

⁸ PPP : Public Private Partnership の略称。官民連携のこと。公共的な社会基盤の整備や運営を、行政と民間が共同で効率的に行おうとする手法。

⁹ PFI : Private Finance Initiative の略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。

(2) 安全安心に住み続けたくなるまちづくり

具体的な施策・事業	重要業績評価指標（KPI）
<p>⑥暮らしの情報発信・充実</p> <p>様々な暮らしに関する情報の ICT¹⁰化により、スマートフォンなど様々な端末・媒体・ツールでの情報入手を可能にし、市民の利便性の向上や関係人口増への手段とします</p> <p>◎ガーデンシティえにわライフスタイル発信</p> <p>◎恵庭市行政デジタル化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇各種マップ多言語化推進事業（多文化共生） ◇窓口サービス向上の推進 ◇（再掲）新ガーデンデザインプロジェクトの推進 	<p>市ホームページセッション数 (基準値 H30-971,727 セッション、 目標値 R6-1,000,000 セッション)</p>
<p>⑦住宅政策の推進</p> <p>既存住宅の流通を図り、リフォームや耐震化を図り、住み替えや住宅の流動化を関係機関と連携しながら促進します</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇既存住宅有効活用・流動化事業 ◇耐震化リフォーム推進事業の充実 ◇住み替え促進事業 ◇3世代住宅の推進 ◇民間未利用地宅地開発等の促進 ◇（再掲）新ガーデンデザインプロジェクトの推進 	<p>住み替えフェア参加者数 (基準値 H30-216 人、目標値 R6-500 人（5年間累計）)</p>
<p>⑧健康・長寿の推進</p> <p>誰もが健康で生きがいのある生活を送り続けるために、高齢者の保有する知識や経験を地域貢献に生かすとともに、健康に対する意識の向上や気軽に楽しめるスポーツの普及などを推進します</p> <p>◎スポーツ健康まちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇高齢者の居場所事業の充実 ◇高齢者等健康増進事業 ◇運動やスポーツを通じたまちづくりの推進 (健康イベント、歩くまちづくり等) ◇在宅医療と介護の連携の推進 	<p>複合施設利用者数 (基準値 H30-593,956 人、 目標値 R6-636,076 人)</p>

¹⁰ ICT : Information and Communication Technology の略称。情報や通信に関する科学技術の総称。

<ul style="list-style-type: none"> ◇介護保険地域密着型サービスの整備・充実 ◇介護保険施設サービスの充実 ◇地域包括ケアシステム¹¹の推進 ◇コミュニティ・スクール事業 ◇（再掲）新ガーデンデザインプロジェクトの推進 	
<p>⑨防災環境の充実</p> <p>異常気象をはじめとする自然災害の常態化に備え、北海道や関係機関との連携を強化するとともに、地域防災力の強化と充実に向けた取り組みを推進する</p>	
<p>◎地域強靭化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○応急手当の普及啓発 ◇防災体制の構築 ◇緊急貯水槽の設置（消防用水の併用） ◇（再掲）新ガーデンデザインプロジェクトの推進 	<p>講習受講者数（累計）（基準値H30-35,000人、目標値R6-42,000人）</p>

¹¹ 地域包括ケアシステム：団塊の世代が75歳以上となる2025年を目指し、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステム。

(3) 恵庭らしさを活かした魅力あるまちづくり

具体的な施策・事業	重要業績評価指標（KPI）
<p>⑩地域資源活用観光振興</p> <p>インバウンドを含めた交流人口の増加を目指し、地域資源を活かしたイベントの充実、観光プロモーションの展開など観光資源の魅力や認知度の向上を図ります</p> <p>◎関係人口の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国都市緑化フェアの開催誘致 ○「花ロードえにわ」(道の駅)と農畜産物直売所による農商工等連携拠点整備事業 ○子育て支援、教育、観光を融合させた花のまちづくり拠点（センターハウス）整備事業 ◇観光プロモーション ◇ガーデンツーリズムの推進 (イベント事業の充実、地域連携による全道的イベントの展開、恵庭渓谷の活用) ◇花のまちづくりプラン推進 (恵庭市公共施設花づくり指針等の推進、ガーデンデザインプロジェクトの推進によるまちのイメージ向上) ◇対恵庭直接投資継続拡大に係る推進事業（海外及び国内） 	<p>観光入込客数 (基準値 H30-1, 356, 869 人、目標値 R6-1, 572, 000 人)</p>
<p>⑪地域産業活性化</p> <p>地域性を反映した事業を展開し、雇用の増や経済の活性化を図ります</p> <p>◎スマート農業の推進</p> <p>◎農業技能実習生受入サポート事業</p> <p>◎サテライトオフィス¹²やコワーキングスペース¹³の活用</p> <p>◎テレワーク¹⁴やワーケーション¹⁵の調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ふるさと納税推進 	<p>製造品出荷額等 (基準値 H29-1560 億円、目標値 R5-1600 億円)</p> <p>ふるさと納税額</p>

¹² サテライトオフィス：企業または団体の本拠から離れた所に設置されたオフィスのこと。恵庭市では通勤ラッシュ等から離れ、北海道内を周遊できるものと想定。

¹³ コワーキングスペース：互いのアイデアや情報を交換し、仕事の質を高める働き方ができる場所。

¹⁴ テレワーク：ICT（情報通信技術）を活用し、時間や場所の制約を受けずに柔軟に働く形態のこと。在宅勤務やモバイルワーク、サテライトオフィスを想定。

¹⁵ ワーケーション：リゾート地などで休暇などをかねてリモートワーク（オフィスから離れた場所で働く）を行う労働形態のこと。「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた造語。

<ul style="list-style-type: none"> ◇自社工場製品モニター販売促進 ◇認定農業者・後継者・新規就農者の育成 ◇農商工連携の推進 ◇産業 PR イベントの開催 ◇産官学金の連携による地元企業の活性化 ◇外国人材が働きやすいまちづくり ◇（再掲）「花ロードえにわ」（道の駅）と農畜産物直売所による農商工等連携拠点整備事業 ◇（再掲）都市間交流による産業連携 ◇（再掲）子育て支援、教育、観光を融合させた花のまちづくり拠点（センターハウス）整備事業 ◇（再掲）新ガーデンデザインプロジェクトの推進 	(基準値 H30-3 億 3294 万円、目標値 R6-10 億円)
⑫産業連関表¹⁶を活用した地域経済活性化 <p>産業連関表を活かし、経済波及効果を測定することにより、効率的な投資により雇用を創出します</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇産業連関表活用事業 ◇RESAS¹⁷活用事業 ◇地域経済循環分析¹⁸（環境省）活用事業 	産業連関表作成（R6）
⑬地域エネルギー有効活用 <p>地球温暖化対策実行計画を策定し、地域エネルギーの有効活用を行ないます</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇地域エネルギー有効活用事業 ◇環境配慮型住宅の推進 ◇まちごと COOL CHOICE の促進 ◇（再掲）新ガーデンデザインプロジェクトの推進 	COOL CHOICE 賛同登録件数（累計） (基準値 R1-3, 693 件、目標値 9, 000 件)
⑭就労促進 <p>地域の雇用の場を創出し、地元就職の促進を図るとともに、女性や高齢者、障がい者等の働く場を維持、拡大し就業人口の増加を図ります</p>	

¹⁶ 産業連関表：経済波及効果分析や各種経済指標の基準改定を行うことを目的に、一定期間において、財・サービスが各産業部門間でどのように生産され、販売されたかについて、行列（マトリックス）の形で一覧表にとりまとめたもの。

¹⁷ RESAS：産業構造や人口動態、人の流れ等のビッグデータをマップやグラフでわかりやすく表示できる内閣官房及び経済産業省が提供しているシステム。

¹⁸ 地域経済循環分析：産業連関表と地域経済計算を中心とした複合的な分析により、「生産」、「分配」及び「支出」の三面から地域内の資金の流れを俯瞰的に把握するとともに、産業の実態、地域外との関係性等を可視化する分析手法。

<p>◎外国人材の登用推進</p> <p>◇就職応援セミナー (学生・生徒、保護者を通した地元就活)</p> <p>◇合同企業就職説明会</p> <p>◇企業誘致の促進 (土地利用の促進や拡大・効果的な優遇制度の運用等)</p> <p>◇障がい者や高齢者等幅広い就労支援事業</p> <p>◇農福連携</p> <p>◇女性就業促進のための保育等多様なニーズに対応する各種施策事業の連携取組</p> <p>◇季節労働者通年雇用促進支援事業</p> <p>◇（再掲）新ガーデンデザインプロジェクトの推進</p>	<p>地元（大学・専門学校）卒業者のがい者や高齢者等幅広い就労支援事業</p> <p>農福連携による就労者・就労訓練者数（基準値 H30-2,479 人、目標値 R6-7,000 人（5年間累計））</p>
<p>⑯中小企業支援事業・起業家支援</p> <p>働く場の創出のため起業者支援を実施するとともに、関係機関と連携しながら中小企業の振興を図ります</p> <p>◇市内外起業家支援事業（新たな開業支援等）</p> <p>◇中小企業活動支援</p> <p>◇（再掲）駅まちプラザ賑わい創出事業</p> <p>◇（再掲）商店街活性化事業</p>	<p>起業件数（基準値 H28～H30-42 件、目標値 R6-70 件（5年間累計））</p>
<p>⑯移住定住促進</p> <p>暮らしや子育て環境を整え、移住定住者の必要とする情報を提供し、条件やニーズに応え、移住の促進を図ります</p> <p>◎外国人も暮らしやすく、住みやすいまちづくり（多文化共生）</p> <p>◇女性、高齢者、障がい者等が共生するまちづくり</p> <p>◇住み替え促進事業 (住み替えセミナーによる戸建て住宅等の供給促進、高齢者の住み替え、リフォーム等の推進)</p> <p>◇移住者促進事業 (雇用情報・賃貸住宅情報等一括提供事業)</p> <p>◇土地利用促進による宅地供給促進</p> <p>◇シティセールスの推進（府内・市民検討委員会）</p> <p>◇（再掲）新ガーデンデザインプロジェクトの推進</p>	<p>日本語習得支援ボランティア（日本語サポート）育成セミナー及び講座の参加者数 (基準値 R1-0 人、目標値 R6-100 人（5年間累計）)</p> <p>オーダーメイドツアー数 (基準値 R1-12 件、目標値 R6-70 件（5年間累計）)</p>
<p>⑰高等教育機関等と連携した若者定着と知の拠点づくり</p> <p>地域と若者をつなぐ拠点として、大学・専門学校や高等学校を位置づけ、高等教育機関を核とした地域力の強化と若</p>	

者の雇用拡大と定住を図ります

◎高等学校・大学等における人材育成

◇高等教育機関連携事業

◇産官学連携

◇地元学生・生徒の定着促進事業

地元（大学・専門学校）卒業

者の地元就職

（基準値 H30-25 人、

目標値 R6-50 人）

(4) 希望を持って子育てしたくなるまちづくり

具体的な施策・事業	重要業績評価指標（KPI）
<p>⑯個々人の希望をかなえる少子化対策推進事業</p> <p>安心して子育てのできる環境・風土を関係事業者と連携し社会全体としてつくりあげます</p> <p>◇育児休暇取得促進事業 ◇子育て応援企業表彰制度 ◇子育て応援隊の推進 ◇（再掲）子育て支援、教育、観光を融合させた花のまちづくり拠点（センターハウス）整備事業</p>	<p>表彰数 (基準値 H30-6 件、目標値 5 件（5 年間累計）)</p>
<p>⑯妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援</p> <p>妊娠、出産、子育てと切れ目のない支援をすることにより、親子が安心して健やかに過ごせる環境づくりに努め、希望をもって子育てしたくなるまちづくりを進めます</p> <p>◎Coconet（ここねっと）えにわの取組み (子育て世代包括支援センター事業) ◎子ども貧困対策</p> <p>◇特定不妊治療費助成事業 ◇妊婦健康診査費助成 ◇産後子育てサポート事業 ◇多子世帯軽減支援事業 ◇私立幼稚園特別支援教育推進事業 ◇恵庭市独自要件による保育園入所事業 ◇子育て情報発信事業 ◇多様な子どもの遊び場の創設 ◇（再掲）女性就業促進のための保育等多様なニーズに対応する各種施策事業の連携取組 ◇（再掲）子育て支援、教育、観光を融合させた花のまちづくり拠点（センターハウス）整備事業</p>	<p>合計特殊出生率 (基準値 H30-1.33、目標値 R6-1.60)</p>
<p>⑰教育環境の充実、学力向上</p> <p>教育環境の充実・学力向上により魅力あるまちづくりをアピールし、転入者増加を目指します</p> <p>◎子どもの生活・学習支援事業</p>	

<p>◎ふるさと教育のさらなる充実</p> <p>◎英語教育の推進（英検 IBA の実施）</p> <p>◇土曜授業等推進事業</p> <p>◇教育環境の充実 (ICT 教育環境の推進、スクールソーシャルワーカー¹⁹、学習支援の推進、コミュニティ・スクールの推進等)</p> <p>◇読書活動推進</p> <p>◇小中連携教育の推進</p> <p>◇学力・体力向上施策の推進</p> <p>◇（再掲）新ガーデンデザインプロジェクトの推進</p>	<p>土曜授業延べ日数 (基準値 R1-32 日、 目標値 R6-38 日)</p>
---	--

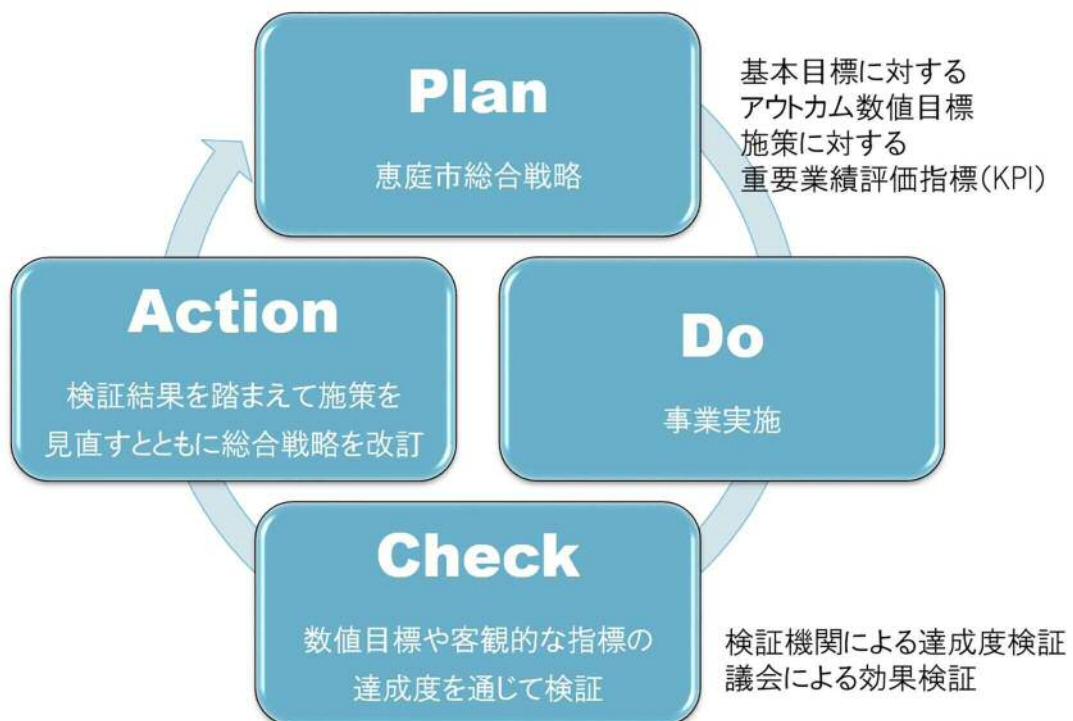
¹⁹ スクールソーシャルワーカー：学校、家庭、地域等、児童生徒に関する背景や状況を視野に入れて児童生徒を取り巻く環境の改善を図るための専門員。

4. 戦略の推進管理

4.1 PDCAサイクル²⁰の推進

恵庭市総合戦略では、基本目標に対するアウトカム（行政活動そのものの結果に係る数値目標ではなく、その結果として国民にもたらされた便益に係る数値目標）を、構成する各事業等には、検証に必要な客観的指標となる短・中期の政策目標のKPIを設定しました。これらに基づき、総合戦略の進捗を毎年度検証し、検証結果に基づいた総合戦略の見直しを行い、状況に応じた施策を実行していくPDCAサイクルを確立することで、総合戦略の基本目標達成に向けた継続的な改善を推進していくこととします。

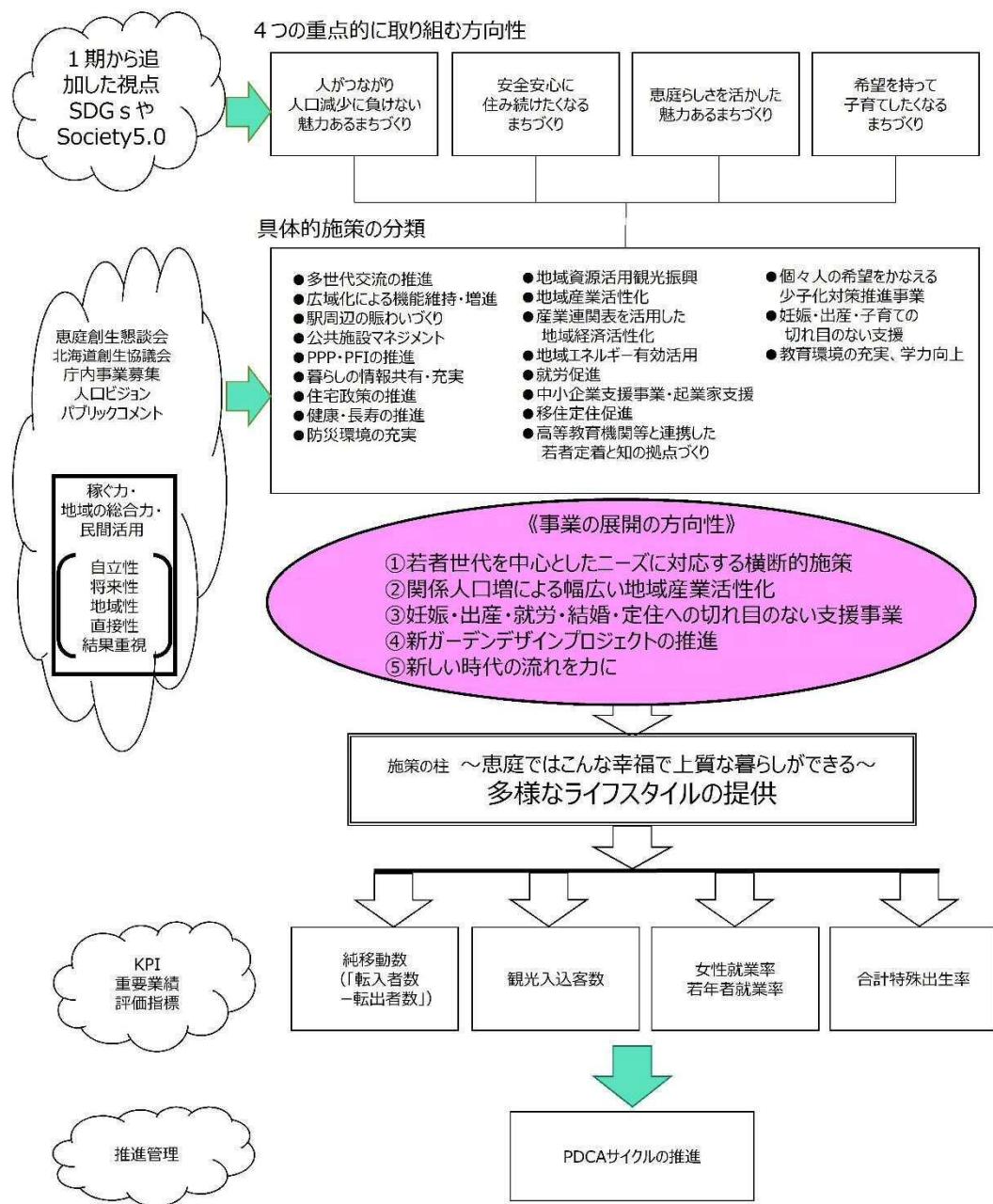
PDCAサイクル



²⁰ PDCAサイクル：Plan-Do-Check-Actionの略称。Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法のこと。

5. 参考

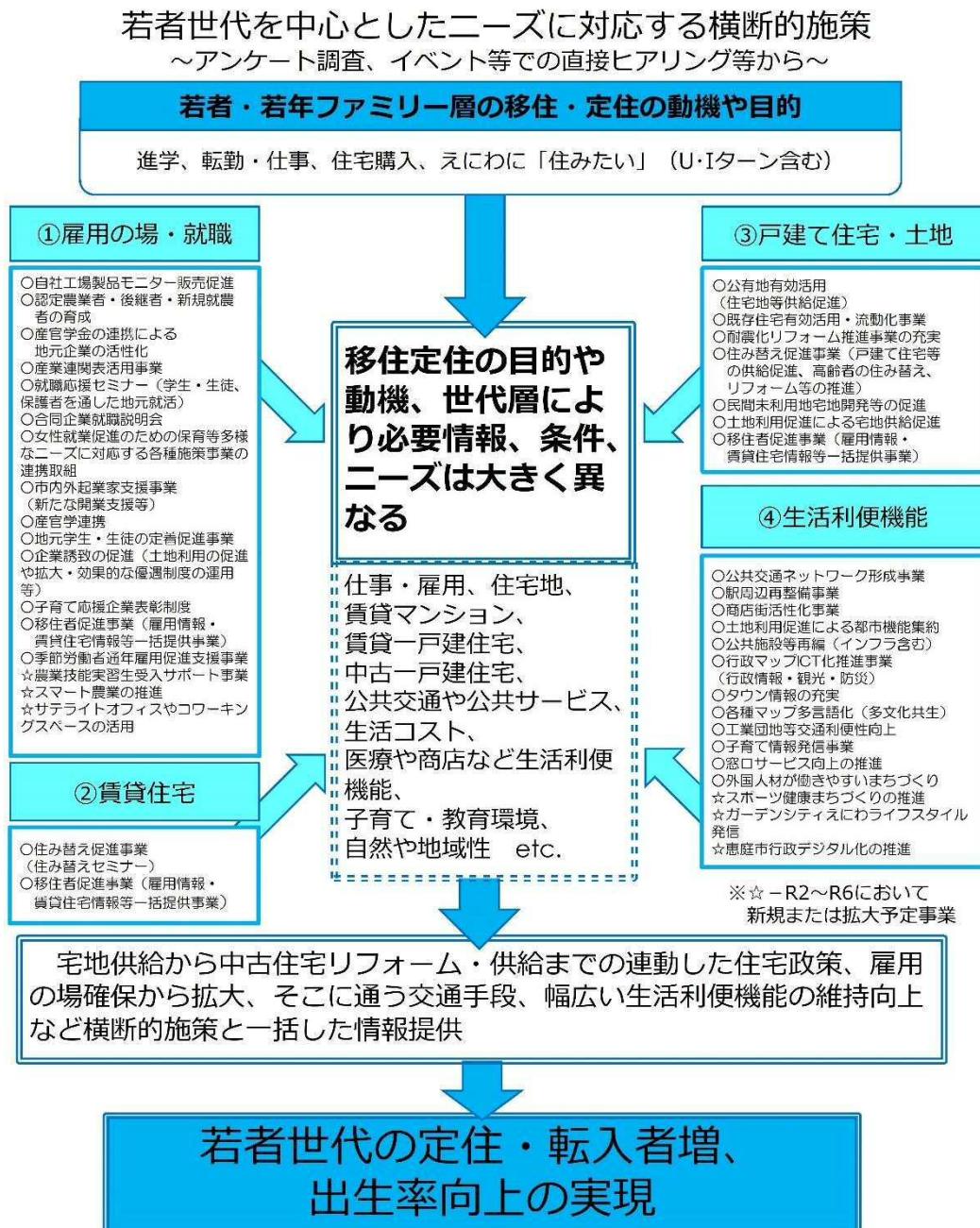
5.1 総合戦略の構成の概要



5.2 事業の展開の方向性

(1) 若者世代を中心としたニーズに対応する横断的施策

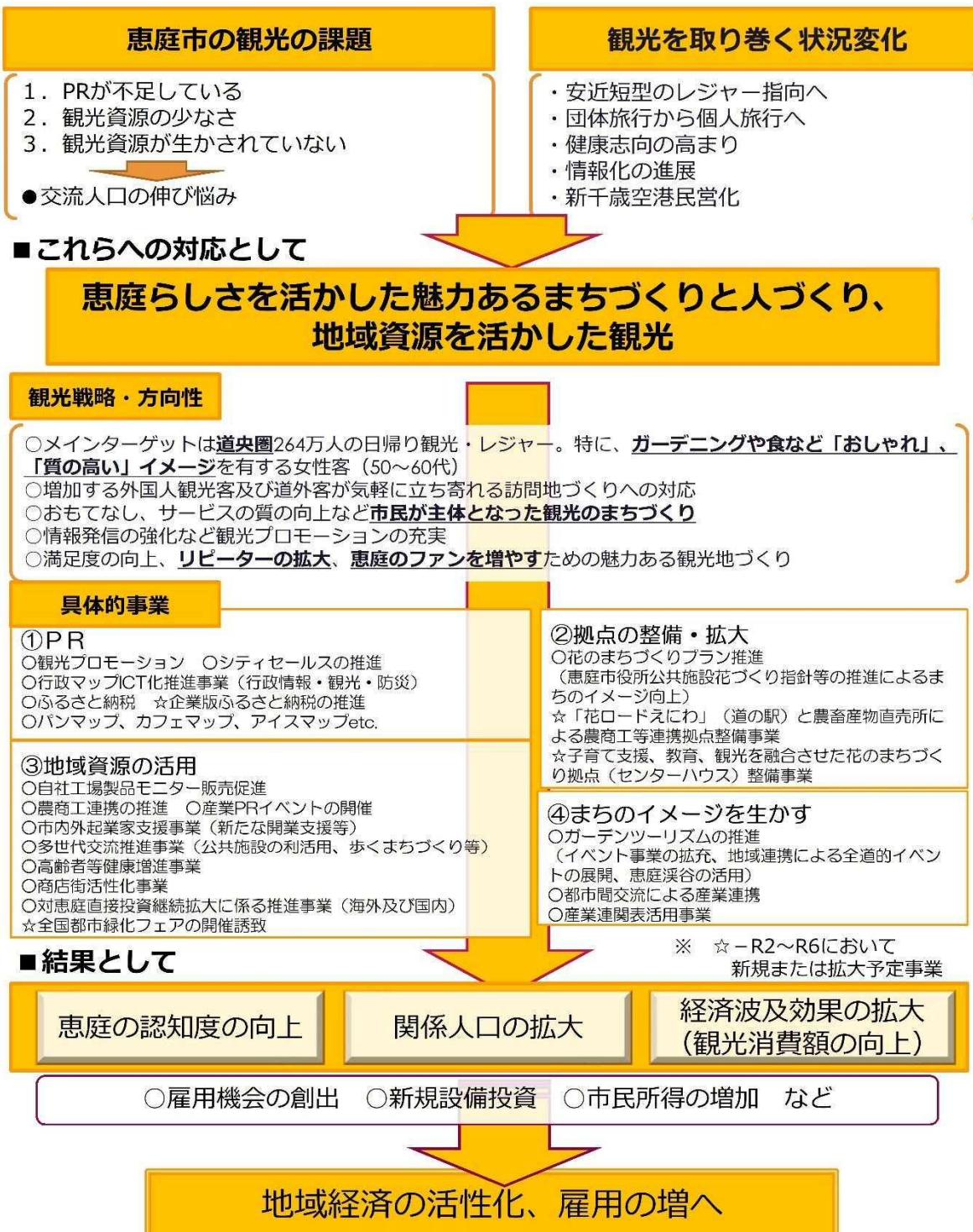
参考資料



(2) 交流人口増による幅広い地域産業活性化

参考資料

交流人口増による幅広い地域産業活性化



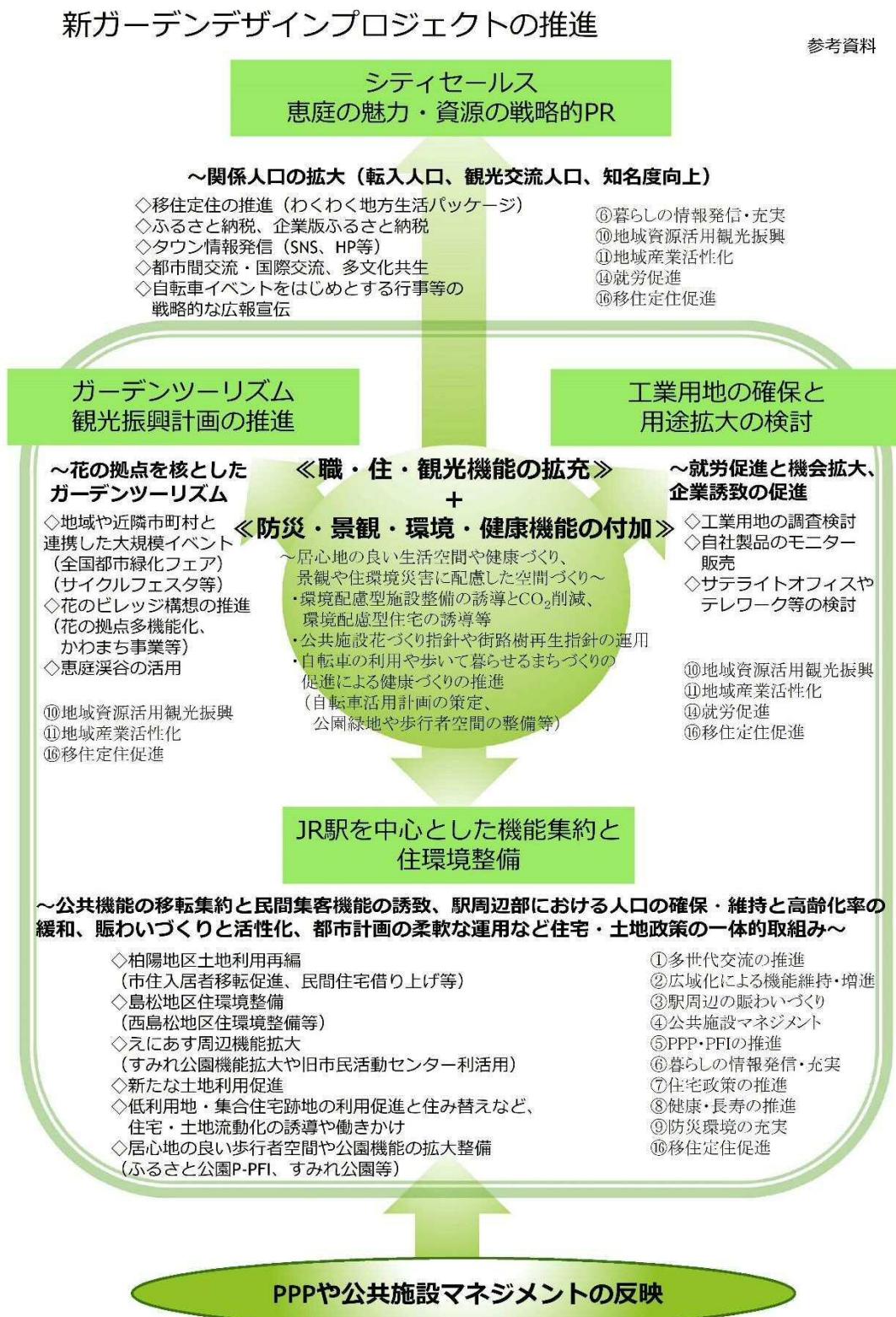
(3) 妊娠・出産・就労・結婚・定住への切れ目のない支援事業一覧

妊娠・出産・就労・結婚・定住への切れ目のない支援事業一覧

参考資料



(4) 新ガーデンデザインプロジェクトの推進



(5) 新しい時代の流れを力に

新しい時代の流れを力に

参考資料

①第2期恵庭市総合戦略とSociety5.0の関係による人間中心の社会

区分	分野	態様	将来像	
未来技術で実現する将来像	事業・ビジネス	製造	生産流通管理	
		サービス	キャッシュレス	多言語翻訳アプリ
		農林水産	スマート農業	
	⑤PPP・PFIの推進 ⑥暮らしの情報発信・充実 ⑪地域産業活性化 ⑯移住定住促進			
	社会基盤・空間	行政	オープンデータ	テレワーク
		インフラ	AI活用	スマートメータ
		運輸	自動運転	ドローン
	③駅周辺の賑わいづくり ⑤PPP・PFIの推進 ⑪地域産業活性化			
	生活・学び	家庭生活	人とロボットの共生	
		医療介護	オンライン医療	医療データ
		教育	遠隔授業	タブレット学習
	⑤PPP・PFIの推進 ⑧健康・長寿の推進 ⑯教育環境の充実、学力向上			

Society 5.0による人間中心の社会



新しい時代の流れを力に

参考資料

②第2期恵庭市総合戦略とSDGsの関係

- | | |
|----------------|---------------------------|
| ①多世代交流の推進 | ⑪地域産業活性化 |
| ②広域化による機能維持・増進 | ⑫産業連関表を活用した地域経済活性化 |
| ③駅周辺の賑わいづくり | ⑬地域エネルギー有効活用 |
| ④公共施設マネジメント | ⑭就労促進 |
| ⑤PPP・PFIの推進 | ⑮中小企業支援事業・起業家支援 |
| ⑥暮らしの情報発信・充実 | ⑯移住定住促進 |
| ⑦住宅政策の推進 | ⑰高等教育機関等と連携した若者定着と知の拠点づくり |
| ⑧健康・長寿の推進 | ⑱個々人の希望をかなえる少子化対策推進事業 |
| ⑨防災環境の充実 | ⑯妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 |
| ⑩地域資源活用観光振興 | ⑳教育環境の充実、学力向上 |



⑯ ⑰



⑮ ⑯ ⑰



⑥ ⑨ ⑫ ⑮



⑨ ⑯



② ⑤



⑯ ⑰



⑨



① ⑧



④ ⑦ ⑩



② ③ ④ ⑤



⑬



① ⑯ ⑰



⑩ ⑪ ⑫ ⑭



⑥ ⑦ ⑬

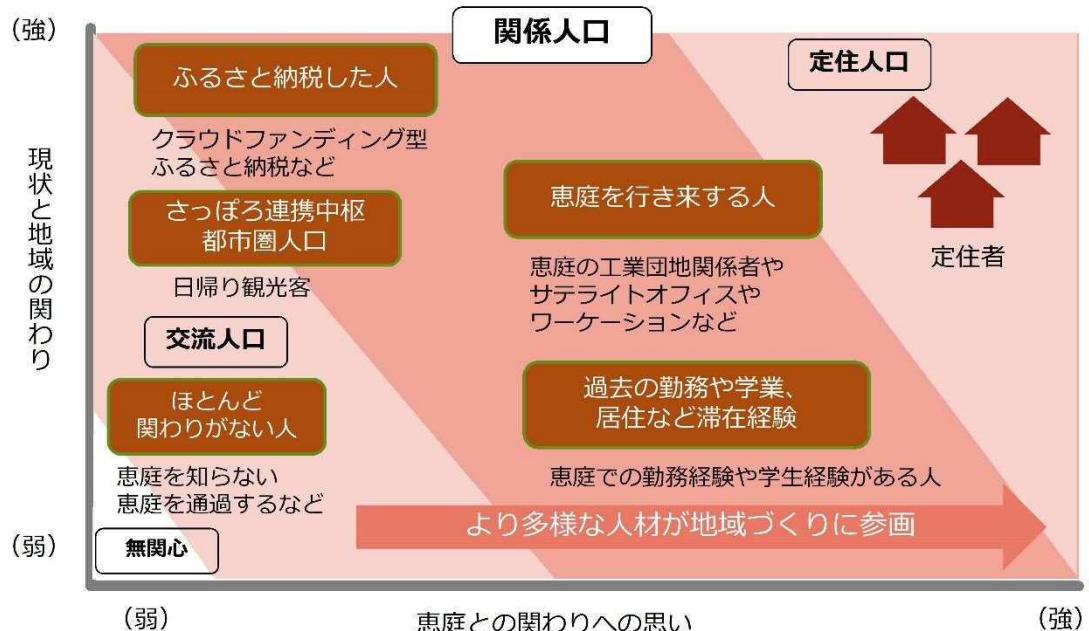


⑯

新しい時代の流れを力に

参考資料

③恵庭市における関係人口の創出



- ⑤PPP・PFIの推進
- ⑩地域資源活用観光振興
- ⑪地域産業活性化
- ⑯移住定住促進
- ⑰高等教育機関等と連携した若者定着と知の拠点づくり

5.3 令和元年度恵庭創生懇談会

職名	氏名	役職等
学識経験者	小磯修二	一般社団法人地域研究工房 代表理事
市内事業者	矢崎哲夫	恵庭工業クラブ（サッポロビール株式会社北海道工場 副工場長）
市内事業者	安保貴弘	恵庭商工会議所青年部（宏和建設株式会社）
高等教育機関	橋内勇	学校法人 鶴岡学園 北海道文教大学 学長補佐
高等教育機関	切明毅	学校法人 滋慶学園 事務局長
金融機関	高橋正樹	北洋銀行 恵庭中央支店長
金融機関	高島信之	北海道銀行 恵庭支店長
報道機関	尾野教仁	恵庭市政記者クラブ (千歳民報社代表)
労働者代表	大溝宏	連合北海道恵庭地区連合会長
士業	佐藤康介	社会保険労務士（恵庭社会保険事務代行社）
行政	山谷秀治	千歳公共職業安定所 (ハローワーク所長)
行政	守山英男	北海道石狩振興局 地域創生部 部長

第1回恵庭創生懇談会 令和元年5月31日

第2回恵庭創生懇談会 令和元年11月21日

第3回恵庭創生懇談会 令和元年12月23日

第4回恵庭創生懇談会 令和2年2月14日

第2期恵庭市総合戦略

2020年（令和2年）3月

■発行 恵庭市

〒061-1498

北海道恵庭市京町1番地

☎0123-33-3131

HP : <http://www.city.eniwa.hokkaido.jp/>

■編集 企画振興部企画課